

新たに入会された皆さん  
正会員、団体会員

・西井進剛

新たに入会された皆さん  
賛助会員

・横山知哉  
・根来城  
・後藤桂治  
・竹内志津香

寄付をいただいた皆さん

・石堂弥華子  
・濱本佳子  
・正木みづ子  
・後藤桂治  
・脇田明  
・細谷崇

(順不同、敬称略 期間:2018年12月11日~2019年3月20日まで)

ご支援ありがとうございました。

(認定)宝塚NPOセンター会員募集・継続のお願い

宝塚NPOセンターは、「市民が市民を支える社会」を作るために、市民活動の支援をしています。人がつながり仲間になる、仲間がつながり地域になる、地域がつながり社会になる、その全ての場面を支えるセンターでありたいと考えています。私たちの活動を、会員として一緒に支えて下さいますようお願いいたします。

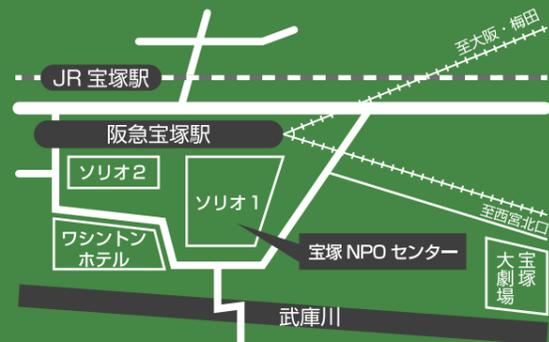
※認定NPO法人への寄付は税制面で優遇されます。

会費

個人正会員	団体会員 (NPO 法人他)	法人正会員	賛助会員
10,000円		30,000円	3,000円

振込先

	銀行振込	郵便振替
銀行名	三菱UFJ	
支店	宝塚支店	
口座番号	普通預金 3629422	00930-8-77117
カナ	トクテイヒエイリ タカラツカエヌビーオーセンター	タカラツカエヌビーオーセンター
口座名義	(特)宝塚NPOセンター	宝塚NPOセンター



(認定)宝塚NPOセンター

〒665-0845  
兵庫県宝塚市栄町2-1-1  
ソリオ1-3F  
TEL: 0797-85-7766 FAX: 0797-85-7799  
E-mail: zukanpo@hnpo.net  
URL: http://hnpo.net/

発行人: 牧里 每治 編集人: 中山 光子

宝塚NPOセンターニュース

TAKARAZUKA  
NPO CENTER  
NEWS

市民の手で市民活動を支える

98 このニュースの編集、発送はボランティアの皆さんにご協力いただいています

2019.03

最後まで共に暮らし、  
伴に歩む「おうち」でありたい。

宝塚NPOセンターは  
メールマガジンを毎月1回配信しています

zukanpo@hnpo.net

上記アドレスに「配信希望」とご連絡ください

みなさまの寄付で支えられています

http://hnpo.net/support/

認定NPO法人に寄付をすると税金が戻ってきます

NPO法人  
宝塚つ・む・ぐの家  
理事長 西野 マリ (中央)  
理事 長谷川 和子 (左)  
理事 江川 潤子 (右)

## 2019年度総会の日程が決定 日時:5月26日(日)13時30分～

2019年度の総会は、5月26日(日)13時30分～となります。

会場は現在調整中です。決定次第お知らせいたしますので、少しお待ちください。

皆さまのご参加をお待ちしております。

### ● 仕事を通じた社会参加づくり

#### <生きがいしごとサポートセンター事業>

#### 「60代からの「生きがい仕事」を見つけるセミナー」を開催

1月18日、19日の2日間にわたり、「60代からの「生きがい仕事」を見つけるセミナー」を開催しました。参加者はのべ32名。定年を数年後に控えた方から最高年齢78歳まで幅広い年齢の参加者が、社会と関わり生きがいを持って暮らし続けるために「働く」を目的に1歩を踏み出されました。初日は、自己分析とこれまでのキャリアの整理、2日目は、企業でのシニアの働き方のご紹介。セミナーの中では兵庫県内のNPOとしては初めて、セブン-イレブン・ジャパン店舗での高齢者の働き方を紹介し、清掃や警備だけでなく、シニアの方に生きがいを持って働いていただける場として、今後はコンビニエンスストアも選択肢の一つとして考えていただく機会になりました。

2月からは伊丹市と宝塚市のセブン-イレブン店舗求人、今後当センターに集約される運びとなり、時間は短く・社会とつながる仕事を求めるシニアの就労として、求職者の皆様にご紹介していきます。



参加者同士の話は熱を帯びてきます



実践者のお二人にお話を伺いました



セブン-イレブン・ジャパンからの説明は、働き方を考えるきっかけに

### ● 人と組織づくり

#### <宝塚市ソーシャルビジネス創業支援事業>

#### 今年も実施 ソーシャルビジネス創業支援事業

宝塚NPOセンターは、今年度も宝塚市からソーシャルビジネス創業支援事業を受託しました。事業の中では、ソーシャルビジネス賀詞交歓会やソーシャルビジネスの起業の基本を学ぶ連続講座を開催。2月からスタートしたこの講座は募集時から人気が高く、定員を増やし開講しました。全体をコーディネートしていただいたのは兵庫県立大学の西井進剛先生。受講された18名は、母親や在日外国人の方の支援、居場所づくり、介護離職の予防、健全なお金の使い方、安全な食など、様々な分野で地域や社会を良くしていきたいという熱い思いを持つ皆さん。

ビジネスモデル、儲かる仕組み、プロジェクト・マネジメントについて学んでいただきました。事業計画のプレゼンテーションでは、先生方からはもちろん、受講生同士でも、様々な立場・角度からの質問や意見を出し合い、それぞれの計画がよりブラッシュアップされていきました。受講生同士のつながりもでき、講座終了後も情報交換されています。

講座が終了し、これからが起業に向けた本格的なスタート。ビジネスとして回していくのは簡単なことではありませんが、宝塚NPOセンターでは、引き続き起業や運営についてのご相談をお受けしながら、皆さんを応援していきます。



ソーシャルビジネス賀詞交歓会。いろんなつながりができました



講座最終会でのプレゼンテーション。熱い思いが伝わってきます!

## コラム

### 「雪の華が降る日に」

ホームホスピス「宝塚つ・むぐの家」は2018年11月に宝塚市宮の町にオープンしました。ホームホスピスは、がんに限らず、あらゆる病、障害などによって、日常生活上の困難に直面している方、その家族に、住まいを中心とした医療、介護、予防と生活支援を提供する場所です。最後まで共に暮らし、共に歩む「うち」になりたいと思っています。

「君知るや かの桃源郷の 花まつり」俳句をたしなんでおられた方の句です。

奥様がお部屋の窓辺に飾られ、私たちスタッフは何度もご本人の耳元で口ずさみ、ステキな歌ですね、とお伝えしました。

2月初旬、早朝から舞うような柔らかな雪が降り、「宝塚つ・むぐの家」の梅がほっこりと咲きました。この雪の華が降る日が「宝塚つ・むぐの家」の最初の看取りになりました。花まつり、には叶わないのですが、ご家族と共に旅立ちの風景を語る事ができ、「この家があって良かった」との言葉を頂きました。

人生の最終章はどこで、どなたと、どんなふうにご家族と話し合う機会を持ってもらうことも「宝塚つ・むぐの家」の目的のひとつです。

NPO法人宝塚つ・むぐの家 理事長 西野マリ(にしのまり)

## 取材に行ってきました!!

### 「病気や障がいのある方が、第二の自宅のように生活できる家」

昨秋、病気や障がいのある方も第二の自宅のように生活できるホームホスピス「宝塚つ・むぐの家」がオープンしました。

理事長の西野さん、理事の長谷川さん、江川さんにお話を伺いました。

#### 「誰もが自宅のように生活できる家」



阪急清荒神駅から徒歩7分の「宝塚つ・むぐの家」

現在、女性2人、男性1人の3人が生活されています。重度の認知症で施設に入れなかった方、介護をする方が高齢のため十分な介護ができない方などいろいろな方のご相談を受けているそうです。もうお一人、入居されていた男性がおられました。2月の雪の華が降る日に、ご家族や職員が見守る中、旅立たれたそうです。

「宝塚つ・むぐの家」を立ち上げたきっかけは、ホームホスピス発祥の宮崎の「かあさんの家」の話が聞かれたことでした。今まで働いてきた福祉の制度の中ではなく、その制度を使いながら、自宅のように暮らすことが可能だということに気付いたそ

うです。施設、病院から、戻る場所がないという方々に、何かできないかと思っていた私たちに響いたのですと、お話しいただきました。お話の中で特に印象的だったのは、「ご利用の方から、いつも喜びや感動を頂いている」ということでした。お話をしないと聞いていた方から「おかえりなさい」といわれた時は小さな奇跡が起こったと感じ涙が出るほどうれしかったそうです。

#### 「みんなで家族のような時間を」

運営には庭の手入れをするグリーンボランティアや、料理を手伝うボランティアが関わっておられ、「宝塚つ・むぐの家」ではご利用の方、そのご家族、ボランティア、職員による、疑似家族のような面白い輪ができています。

「宝塚つ・むぐの家」では、ご利用される方の全てをスタッフが預かりするのではなく、ご家族もできることは関わりをもってもらい、みんな家族のように一緒に時間を過ごせるような家にしたいです。とお話しいただきました。

これからスピードを上げて進行する高齢化。誰でもが安心して年齢を重ねられる社会にするには、安心して迎え入れる施設が欠かせないと思いました。



明るく、温かい共用リビング

NPO法人宝塚つ・むぐの家 連絡先

TEL: 0797-85-5011

E-Mail: tsumugu3@galaxy.ocn.ne.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/takarazuka.tsumugu/>